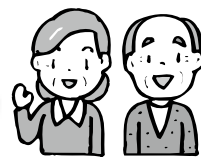




みんなで考えよう わたしたちの公共施設



～30年前～ **Aさん 30歳**

Aさん一家 5人家族

家族が増えたから、そろそろ大きい家を建てよう!

住みかえ

今から30年前、子どもが増えたので、Aさん一家は賃貸アパートから一軒家に住みかえました。

そして・・・30年後 子どもたちが自立したAさんは・・・

～現在～

子どもたちが自立して使わなくなった部屋もあるから、小さなマンションに引っ越ししましょうよ。
家の修理代も少なくなるわ。

就職や結婚などで子どもたちが自立

そうだね。思い出のある家を手放すのは少し寂しいけど、身の丈に合った広さの家へ引っ越すことにしよう。

Aさん 60歳

Aさん夫婦は、一軒家を売って、マンションに住みかえました。

住みかえ

住まいのコンパクト化

それから15年後 年金生活のAさん一家は・・・

～15年後～

Aさん 75歳

家にかかる費用を少なくしたから、老後もゆとりをもって暮らしているね。

早くから準備してよかったわ! お金の余裕がでてきたから、今度温泉旅行なんてどうかしら?

温泉旅行

15年後、Aさん夫婦は、老後も安心して生活を送ることができそうです。



長崎市は、これまで人口増加や経済発展にあわせて、たくさんの公共施設を整備してきました。今後、人口減少・少子高齢化が進むなかで、どうすればAさん一家のように上手に備えることができるのでしょうか。皆様も一緒に長崎市の公共施設について考えてみましょう。

問い合わせ 長崎市資産経営室 ☎095-829-1412

長崎市公共施設マネジメント

検索

長崎市は「公共施設マネジメント」に取り組んでいます

ところで公共施設マネジメントって何かしら？



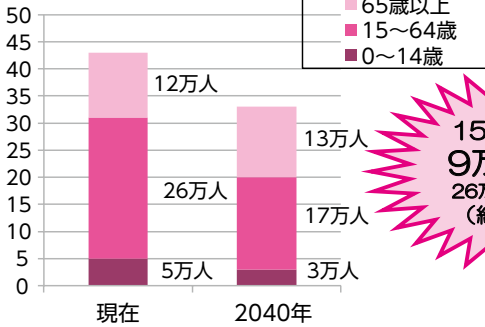
長崎市がすすめる**公共施設マネジメント**は、これから先も市民の皆様安心して快適に利用していただける公共施設へと、また未来の子どもたちに負担をかけずに引き継ぐことができる公共施設へと見直す取り組みのことです。



Q：長崎市が「公共施設マネジメント」に取り組んだきっかけは？

人口減少・少子高齢化が進みます！

長崎市の人口は、2040年には10万人減の**33万人**と予測されています。



15～64歳は
9万人減少
26万人→17万人
(約35%減)

利用する人が減るのに公共施設はそのままいいのかな？



施設の老朽化が進んでいます！

長崎市の公共施設は、建築から**30年以上**経っているものが約52%で老朽化が進んでいます。(H27.3.31現在)



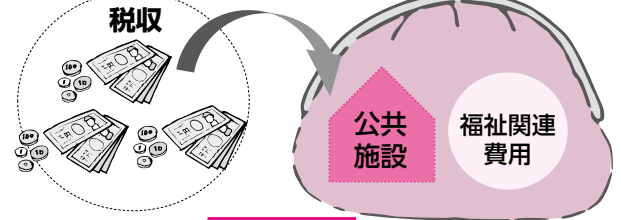
このままでは、これから改修や建て替えにたくさんのお金がかかりそう…



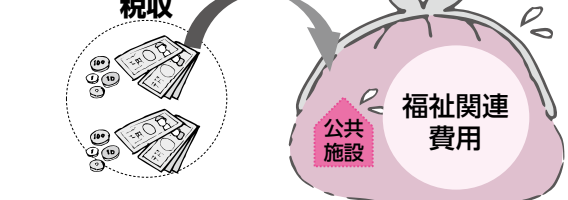
減っていく税金、増える福祉関連費用

働き手の減少で税金が減る一方で、高齢化に伴い福祉を支える費用が増えることが予測されています。つまり、施設の改修や建て替えに使える費用が減っていきます。

〈現在〉



〈将来〉



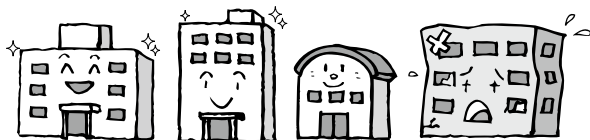
公共施設の改修や建て替えに使えるお金がずいぶん減ってしまうのね。



Q：長崎市で今後、公共施設の改修や建て替えにかかる費用は？

長崎市が現在保有している公共施設の将来的な改修や建て替えに必要な費用を試算した結果、平成27年度から今後30年間で、**約879億円**不足することがわかりました。

このままでは **4つに1つの建物の改修や建て替えができない** ことになります。



そこで、長崎市では次のような目標を掲げています！

〈数値目標〉

今後、**15年間**で、

この**約879億円の解消を**
目指します！



ここでいう「公共施設」とは、学校・市営住宅・ふれあいセンター・公民館・体育館・老人憩の家・児童センターなど、長崎市が設置・運営している施設のことを指しています。

Q:「公共施設マネジメント」って具体的にどんなことをやっているの?

実際の公共施設マネジメントの取組事例を紹介します!



保育所から公民館へ（平成28年春オープン!）



新野母崎樺島地区公民館
(旧樺島保育所)

旧「樺島保育所」を新「野母崎樺島地区公民館」に!

野母崎樺島地区公民館は築42年が経過し、老朽化が進むとともに、耐震化にもバリアフリー化にも対応していませんでした。

その一方で、地域の少子化により閉所した樺島保育所はその後、あまり有効活用されていませんでした。そこで地域の住民の皆様のご理解・ご協力のもと、その建物を改修し、新しく公民館として活用することになりました。

建物は約624㎡から約342㎡へと少し小さくなりましたが、耐震化やバリアフリー化を実現することができました。

旧公民館

- ・耐震性なし
(築42年)
- ・バリアフリーでない
(3階建て・エレベーターなし)
- ・駐車場4台分

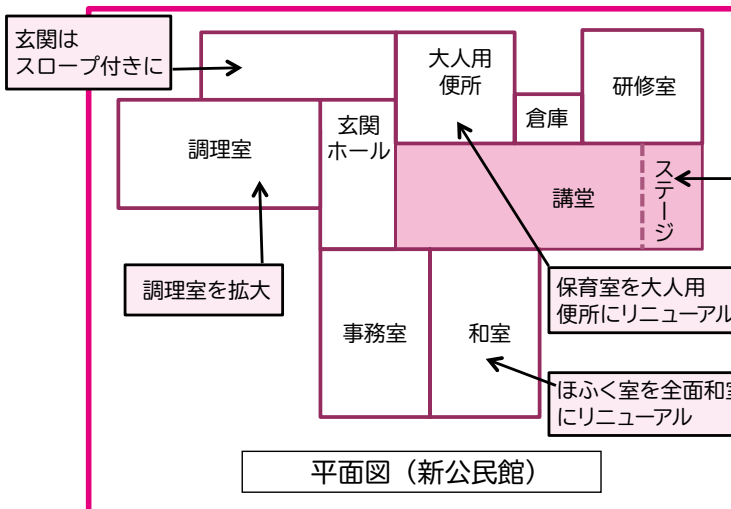
新公民館

- ・耐震性あり
(築22年)
- ・バリアフリー対応
(平屋建て・スロープ設置)
- ・駐車場14台分

地震にも強い建物へ!

お年寄りや小さなお子さん連れの方も使いやすい!

駐車場が広がって便利に!



旧樺島保育所のお遊戯室は新しい公民館の講堂として活用します!



講堂
(旧遊戯室)



旧樺島保育所の建物を今後公民館として使っていくことで

市の負担額を **約1,700万円** 削減することができました!

- ・旧公民館をそのまま継続して使用するために、耐震化やバリアフリー化（エレベーター設備など）の改修をした場合に必要となる費用は **約5,700万円**
- ・旧保育所を公民館として使うための改修に必要な費用は **約4,000万円**

まだあります！

公共施設マネジメントの手法の例

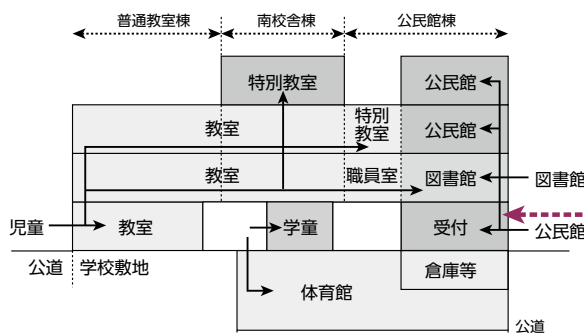
学校の複合化・多機能化



学校と図書館との複合化により、豊富な資料を授業等で利用することが可能に。

複合化・多機能化とは、複数の施設を1つにまとめたり、1つの施設にいくつかの機能を持たせたりすることです。

<立面図>



※矢印「←」は、それぞれの利用者の動線を表しています。



公民館の入口にある受付で利用者を確認

文部科学省HPより一部抜粋

Q：公共施設をどのように見直していくの？

長崎市はこれからも「子どもから高齢者までだれもが暮らしやすいまち」であることを目指しています。そのためには**公共施設を賢く使うこと**が大切です。

そこで、公共施設マネジメントでは、次の基本的な考え方のもと、施設の見直しをすすめていきます。

<基本的な3つの考え方>

1
市民がより多く
利用している公共施設へ
見直します

2
適正な配置と規模で
設置している公共施設へ
見直します

3
効率的・効果的に
管理運営している公共施設へ
見直します

Q：市民の私たちにもできることはあるの？

昨年は市民の皆様を対象としたシンポジウムを開催しました。今後も公共施設マネジメントへのご理解を深めていただくため、今年は市民の皆様にご意見を伺う機会を設けていきます。未来の長崎市について一緒に考えませんか？

また、公共施設マネジメントについての出前講座もご用意しています。職員が皆様のところへ出向いてわかりやすく説明しますので、お気軽にご連絡ください。



昨年のシンポジウムの様子 (H27年3月)

出前講座「公共施設マネジメントについて」

- 対象者：市内にお住まいか、市内に通勤されている原則15人以上のグループ
- 開催日：ご希望の日(土曜日・日曜日・祝日も可。ただし、年末年始を除く)
- 時 間：午前9時～午後9時の間 (60分前後)
- 講演料：無料
- 申込み方法：郵送、ファックスまたはインターネット

長崎市 出前講座

検索

今、私たちが工夫すれば、子どもや孫たちの将来のためになるんだなあ。

